

教えないことが 教育の秘訣

「教育の最大の秘訣は教育をしないことにある」とは、教育学者エレン・ケイの言葉。実際、教員に英単語を教えられるより、生徒が自ら発見したときのほうが身につきます。非常に難しいことですが、それを追究する人生も面白そうです。

経験ではなく 歴史から学ぶ

「愚者は経験から学び、賢者は歴史から学ぶ」。ドイツの鉄血宰相ビスマルクの格言です。教員はつい経験則に頼りがちで、それだけでは行き詰まることもあります。教育学に目を向け、広く歴史から学ぶことも大事だと肝に銘じています。

聖書翻訳の 歴史を調べて

本校の建学の精神は「主を畏れることは知恵の初め」です。先日ウィン館で、訳語表現が創立時とは違っていることを知りました。訳語の軌跡を辿ると、中国語、英語、そしてヘブライ語…。翻訳の歴史を調べるのが新たな趣味になりました。

ICTは授業に 本当に必要か？

本校に来る以前からICTの有用性に着目し、タブレットの導入などに力を入れてきました。メリットばかりではありませんが、現代人には膨大な情報を処理する力がどうしても必要です。個々の状況を見守りながらICT学習を進めています。

答えのない 研究の面白さ

教員嫌いだった私がなぜ教員になったか。動機はやや逆説的で、自分が受けた教育ではない教育を行ってみたかったからです。教育学に興味を抱き、教育という答えのない研究にはまりました。これからもそれを追いかけていくつもりです。

TOPIC



おしえて！ 江田先生

教育学の歴史を現代に活かす
英語教育で、生徒の表現力・
探究力を伸ばします。



Realize Your Mission

誰一人として
取りこぼさない授業を
英語を通して追究

北陸学院高等学校 英語科教諭

江田 亨 Toru Eda

profile

富山大学教育学部学校教育教員養成課程教育学専攻卒業。2007年から2019年まで高岡第一高等学校(富山県)で教鞭をとり、以後3年間は光ヶ丘女子高等学校(愛知県)に勤務。2022年4月より北陸学院高等学校で英語科を担当。高校1年生の学級担任、バドミントン部顧問。

北 陸 学 院 高 等 学 校

人間力を伸ばす ミッションの英語教育

ICTを使った学習で
4技能の向上を目指す



Pick up!



昨春から高校で英語を教えています。前任校もキリスト教学校で、「個を大切に」「他と比べない」「誰一人取り残さない」というキリスト教教育に出会えたことは大変貴重な経験でした。本校でも、生徒一人ひとりを丁寧に見つめる指導を心がけたいと思います。

高校の英語科では、本年度からICTを活用した自宅学習法を二つ導入することになりました。一つが「スタディサプリ」。生徒はスマホに取り込んだアプリで課題に取り組む、「聞く」「話す」「読む」「書く」の練習を何度も行いながら4技能を鍛えていきます。もう

※情報通信技術

一つは「キリスト教学校のためのオンライン英会話」。外国人との直接対話を、自宅からオンラインで体験してもらう試みです。思いが伝わらずにもどかしく思うことも多いでしょうが、それがステッアップのきっかけになればと期待しています。在学中に海外研修や留学に行く生徒も多いので、そうした学びにも繋がりたいですね。

どちらも始めたばかりで試行錯誤中ですが、興味深く取り組んでいる生徒もいます。ICTの学習は意欲の有無で力の差が開く場合もあり、きめ細かにフォローしていくことが大切です。

一人ひとりに心を配り、
自己発信力を英語で培う

日本には沈黙を美德とする文化がありますが、生徒にはもって自己アピールしてほしいと思います。意見をしっかりと持ち、なぜそう思うかを論理的に組み立てられる力を身につけてほしいです。それに役立つのが、文法の組み立てが必要で英語など第二言語の学習で、自分の思いを外国語では何というか、どうすれば伝わるのか。筋道を立てて考え、自分なりに必死で表現しようとする活動が、発信力の向上に繋がると捉えています。

具体的には、前述のICT学習などで自己発信の機会を増やしたり、授業ならば、学んだ語句をいくつかのような場で使うのか、一歩踏み込んで考えさせる練習を繰り返したり。生徒のレベルはさまざまで、誰も取りこぼさない授業の実現は容易ではありませんが、そうした教育こそ私たちが目指すものです。一人ひとりを注視して変化を確認しつつ、生徒たちの人間力の育成を、英語を通じて進めていきたいと思います。

北陸学院中学校 からのお知らせ

Hokuriku Gakuin Junior high School

● スカラシップ奨学金制度

以下成績優秀者の3年間の授業料を無償※1とします。

- ①本校の入学試験で4教科※2の合計点が225点以上の入学者
- ②本校の授業料が3年間免除※3

※1:入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。

※2:4教科(国語100、算数100、理科50、社会50)の合計300点。

※3:スカラシップ奨学金制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断になることもあります。

● 体験入学 7/22土

教育方針の紹介や、礼拝・授業・部活動を体験！

対象 小学5・6年生の児童とその保護者

時間 9:00～11:30(8:30受付開始)

申込 本校のホームページよりお願いします



北陸学院高等学校 からのお知らせ

Hokuriku Gakuin high School

● スカラシップ奨学金制度

以下成績優秀者の3年間の授業料を無償※1とします。※2

- ①本校の入学試験で5教科の合計点が400点以上の入学者
- ②本校を推薦入試(専願・併願とも)で受験し合格した者のうち、3年次の9教科評定の合計が本校の定める基準以上の入学者
- ①②ともに特別進学コース・総合進学コースどちらのコースを受験した場合も適用されます。

※1:入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。

※2:スカラシップ奨学金制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断になることもあります。

● 体験入学 7/28金 クラブ体験 8/24木

体験入学 教育方針の紹介や、礼拝・授業・部活動を体験！

クラブ体験 強化指定部の練習に参加できます！

対象 中学3年生の生徒とその保護者

申込 各中学校にお問い合わせください



高校

International Understanding

誰に対しても心を開く
国際理解教育

138年前に宣教師メリー・K・ヘッセルが北陸学院を創立して以来、本校は国際理解教育に力を入れてきました。柔らかい感性を持つ10代に多文化に触れることは、自由に使える語学力とともに、世界に対する「開かれた心」を育みます。



里子支援

(高校) (中学)

本校では献金を行い、フィリピン、ネパールにいる里子が自立するための教育支援を長年続けています。他者とともに生きていることを知り、自分には何ができるのか、どうすれば手を差し伸べられるのかを考える機会になっています。



国内留学プログラム

(高校) (中学)

希望者向けに夏休み中の3日間を活用して、「All English」で英語発信能力を身につけるプログラム。異文化を理解し合う目的で、外国人講師から出身国の文化を学んだり、世界に紹介したい日本の魅力を英語でディスカッションしたりします。



世界の果てまで イッテM!

(中学)

各国の専門家や教員が、その国の文化や食べ物、宗教の違いなどを紹介する講演会。2023年度はワークショップ礼拝と合わせて、シンガポールの方々と歌を交えて互いの考え方を知る機会も。自国と比較しながら、生徒たちの知識を広げます。



レッツ speak English!

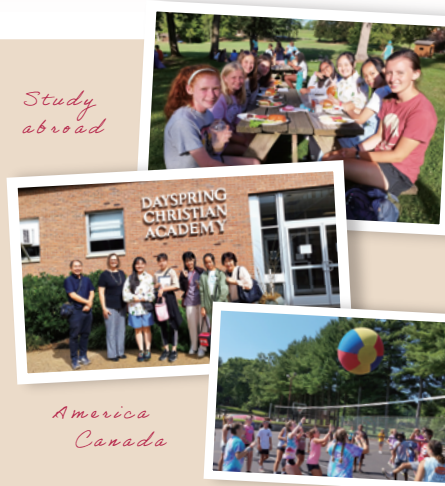
(中学)

総合学習の一環で、海外からゲストティーチャーを招き、日本について生徒が発信する場と、海外の文化を学ぶ場を設けています。2023年度は、「シンガポールの食べ物と言語」「韓国の芸術・メディア・若者文化」などのテーマについて学びました。



・・・ ミッションの研修・留学制度 ・・・

	短期海外研修制度	ターム留学制度	長期留学制度
中学校	アメリカ 対象:1~3年生 期間:夏休み中の約2週間	アメリカ 対象:1~2年生 期間:12月中旬~2月下旬(約3か月)	
高等学校	アメリカorカナダ 対象:1~2年生 期間:夏休み中の約2週間	アメリカ 対象:2年生 期間:1~3月(約3か月)	カナダ 対象:2年生 期間:約1年間



北陸学院中学校
北陸学院高等学校

〒920-8563 金沢市飛梅町 1-10
中学/TEL.076-262-3012 FAX.076-262-3096
高校/TEL.076-221-1944 FAX.076-224-4398



月刊北國アクトス2023年8月号掲載記事

<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/>

Realize Your Mission
あなたの使命を実現しよう